

日本にはかつて2500程度の
 鉱山があり、多くの金属資源
 が産出されてきました。
 地球の地下は常に動いており、
 その中で日本は陸・海域とも
 に資源に恵まれる場所にあり
 ます。それはなぜか？
 博物館の鉱石試料の分析か
 らわかったことも含めて、
 その理由について
 紹介します。

実は資源が多い日本列島

— 博物館の鉱石試料からわかる
 地球の変動と金属資源のでき方 —

Lecture series

— 研究の最先端 —

no.168

レクチャーシリーズでは、
 様々な分野で活躍する研究者にご講演いただいています。

2026年度は、4名の先生方に
 研究の面白さや可能性についてお話を伺います。

一緒に研究の世界へ。
 中高生も大歓迎です。



アクセス
 京阪電車「出町柳駅」より
 徒歩約15分。
 市バス停留所「百万遍」より
 徒歩約2分。
 ※駐車場がありませんので、
 公共交通機関をご利用ください。



2026.05.16
 sat.
 10:30~12:00

小池 克明

京都大学大学院 工学研究科

<先生からのメッセージ>

我々の生活に不可欠である色々な金属は元々は岩石に含まれており、
 46億年前の地球の誕生から今日までの変動の営みが作り出しました。
 金属資源はこのような地球全体にわたる壮大なスケールと長い時間
 の中で生成されたものです。

<会場>

ミュージラボ (総合博物館1階 自然史展示室内)

<申し込み>

不要です。直接博物館へお越しください。

※ 満席の場合はご参加いただけないことがありますのでご了承ください

<参加費>

無料です。(ただし入館の際に博物館の観覧料が必要です。)



<お問い合わせ>

京都大学総合博物館

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

E-mail info@inet.museum.kyoto-u.ac.jp

URL <https://www.museum.kyoto-u.ac.jp>

